

【別紙】 令和7年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立小谷場中学校)

(A4判横)

学校教育目標	自主・協働・創造
目指す学校像	生徒一人一人に笑顔と夢がある学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日は、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	4名
事務局 (教職員)	4名

学 校 自 己 評 価						
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 8 年 2 月 2 0 日 現 在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
組織運営	<p>○生徒が主体的な学びの場を多く取り入れ、振り返りのある授業で様々な力が身につけることが求められている。現状に満足することなく、授業改善を促していきたい。</p> <p>□不登校や特別支援教育に大きな課題がある。教育相談体制を強化し、様々な形で支援していくよう努める。</p>	<p>○埼玉県学力学習状況調査で、全教科、全クラスで県平均を超える。</p>	<p>○教科ごとに情報交換に取り組み、主体的な学びの場を増やす授業を推奨する。振り返りについて、教科部会で研究する。管理職による授業訪問を定期的の実施し、見届ける。</p>	<p>○埼玉県学力学習状況調査で、全教科とはいかなかったが、概ね県平均を超えることができた。また、学力の伸びはどの教科も確実に伸びてきている。教科担任の授業改善の効果が出ている。</p>	B	<p>・授業については、引き続き生徒が学びに主体的に向かえる授業の取り組みを継続していく。</p> <p>・不登校については、ふだんの学校生活を充実させることが未然防止につながるので、生徒の学校生活を充実させていく。</p>
		<p>□不登校生徒の割合の減少を実現する。(8%→5%)</p>	<p>□生徒指導委員会を中心に相談室との連携を密にし、学校全体で不登校生徒や発達に課題のある生徒への支援体制を確立する。新規の不登校を出さないよう学校生活を充実させ、不登校の未然防止を図る。ステップルームや相談室等の</p>	<p>□生徒指導委員会を中心に不登校生徒の支援を組織的にを行い不登校の割合5%以下に減少することができた。</p>	A	
		◇	◇	◇		
教育課程	<p>○教職員の勤務時間のなかで、生徒の教育活動を終えるよう教育課程を工夫にする。</p> <p>□生徒一人一人に学習支援ができる組織づくりを研究していく。</p>	<p>○教育活動のなかで、行事等の精選をさらに進める。また、年間授業時数1015時間を維持しながら、質の高い授業を実践し学力向上を目指す。</p>	<p>○昨年に引き続き学校行事の内容を見直し、費用対効果の高い内容を厳選する。市内中学校の状況を把握し、さらにより教育課程を検討する。</p>	<p>○勤務時間の範囲で最終下校時刻を設定したので、勤務時間内に生徒が学校にすることがなくなり、教員の事務処理の時間も確保できた。今後も業務の効率化を図っていきたい。</p>	B	<p>・今後も、教育の費用対効果を考えながら、教育の質を高めていきたい。また、学習や集団になじめない生徒への支援の工夫を行っていく。</p>
		<p>□教職員をはじめ、相談員、支援員、AT等総力をあげて、学習支援体制の構築を図る。</p>	<p>□支援員やアシスタントティーチャーを活用し、ステップルーム等での取り出し授業を実施する。</p>	<p>□ステップルームを利用する生徒は、少ないながらも一定の効果は見られた。相談室登校が増えたので、支援の方法を今後検討していきたい。</p>	B	
		◇	◇	◇		
開かれた学校づくり	<p>○昨年に引き続き、保護者・地域から信頼される「地域とともにある学校」づくりを具現化する。</p>	<p>○必要な情報発信できるよう工夫し、地域や保護者への理解を深める工夫をする。</p>	<p>○ホームページやスクリレの充実を目指し、情報の質を向上させる。学校行事の公開、地域連携行事を厳選して行い教員の負担のないよう実施する。</p>	<p>○ホームページ等を活用し、適宜情報発信することができた。スクリレを活用することで、配布文書をデジタル化できた。行事については、今後もよりよいものを目指して検討していきたい。</p>	B	<p>・学校の情報を学校だけでなくHP、スクリレ等を活用して発信できた。また、地域行事にも管理職が参加し、理解を得ることに努めた。今後は、地域の力を活用していきたい。</p>
		□	□	□		
		◇	◇	◇		

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和8年2月20日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・相談室登校から、登校復帰について、なかなか難しいところもあるが、相談室登校の充実を。</p>	
<p>・風通しのよい職場が一番。今後も継続してほしい。</p>	
<p>・芝西小学校との連携について、効果もできているので、今後も充実させてほしい。</p>	
<p>・芝西小学校では、体力向上の研究発表を行った。中学校でもそれを生かしてほしい。</p>	
<p>・学年会計に事務職員が関わっているので、事故が0。継続してほしい。</p>	
<p>・地域にあいさつをしない職員がいる。改善してほしい。</p>	
<p>・中間テストをなくした。家庭で勉強しなくなったという地域の声がある。</p>	
<p>・</p>	
<p>・</p>	

教職員の資質向上	<input checked="" type="checkbox"/> 研修テーマが、より実践的になるよう適切に実施していく。 <input type="checkbox"/> 病休や中途退職者が出ないよう、働きやすい学校づくりに取り組んでいく。	<input type="checkbox"/> 「個別支援が必要な生徒へのチーム小谷場としての実践」を実現する。（本校研修テーマ）	<input type="checkbox"/> 学校研修主題の具現化を図るため、定期的・計画的に校内研修を実施し、職員同士の共通理解を図り教育活動を実践する。今年度は、特別支援教育に力を入れていくため関係機関との連携も充実させていく。	<input type="checkbox"/> 計画的に校内研修を実施し、テーマ実現に取り組むことができた。小中連携も夏季休業を利用して、芝西小と充実した研修が定着してきている。6年生の授業参観等も計画的に行うことができた。	B	<ul style="list-style-type: none"> 今後も教育活動のなかで、幅広く課題解決に向けた研修テーマを研究し、計画的に実施していく。また、効果的な小中連携についても研究していきたい。 働き方改革については、教育課程の変更等図りながら、実施するとともに教員の意識を変えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
		<input type="checkbox"/> 風通しのよい職場をつくり、教職員の負担感を軽減し、働き方改革を進める。	<input type="checkbox"/> 計画的に倫理確立委員会を実施し、教育公務員としての自覚を確認する。業務効率を見届け、働き方改革検討委員会のなかで負担軽減を図る。	<input type="checkbox"/> 相談しやすい雰囲気づくりに努め、学年関係なく風通しのよい職場の手ごたえを感じた。教頭と連携し、適切なタイミングで声掛け等も行うことができた。	B		
		◇	◇	◇			
施設・設備等の管理	<input type="checkbox"/> 学校における施設事故のニュースが多い。生徒や保護者、地域の方が安心して登校できるよう施設管理をする。 <input type="checkbox"/> 会計等の自己も付随して多いので、会計事故のないよう合わせて管理していく。	<input type="checkbox"/> 安全・安心な学校を目指し、施設・設備事故0を達成する。	<input type="checkbox"/> 日常及び定期的な安全点検を実施し、危険個所の把握と迅速な対応を行う。決められた予算のなかで、計画的に修繕を進めていく。	<input type="checkbox"/> 施設・設備の事故0達成した。しかし、施設の老朽化も含めて、計画的に修繕に取り組む必要がある。	B	<ul style="list-style-type: none"> 今後も日々の安全点検を徹底し、計画的な修繕に取り組む。 諸会計について、事故のないよう事務職員と連携を図りながら、教員の意識を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
		<input type="checkbox"/> 安全・安心な学校を目指し、会計の適正な執行及び会計事故0を達成する。	<input type="checkbox"/> 諸会計において、定期的な監査を行い、見通しの立つ会計簿を管理する。教員が現金を扱う機会を減らし、事故のリスクを減少させる。	<input type="checkbox"/> 事務職員との連携を大切にしながら、会計事故0を達成した。事務職員の負担が大きいため、今後改善していきたい。	B		
		◇	◇	◇			